

展覧会概要

令和4（2022）年度から、富山市がこれまで40年以上にわたり街づくりの柱の一つとして掲げてきた、ガラスをテーマとした政策で整備された3施設（富山ガラス工房、富山ガラス造形研究所、富山市ガラス美術館）が連携し、ガラスの産業化や作家支援等に資することを目的とした展覧会をガラス造形研究所卒業制作展とあわせて開催しています。

4回目となる本展では、令和7年（2025）5月、ガラス作家の高橋禎彦氏が富山ガラス工房の新館長に就任されたことを記念し、氏の制作と所属作家17名の作品で工房の現在を紹介いたします。

高橋館長が思い描く「工房」とは、単なる制作の場ではなく、多数の技術や人材が集まり、相互に刺激を与えながら創造性を広げていく「技術力のハブ」のような存在。音楽スタジオにアーティストとエンジニアが集い、共同で作品を作り上げる場となるように、ガラス工房もまた作家とスタッフが緊密に関わり合い、それぞれの作家性を尊重し合いながら調和し新たな表現を可能にする場であることを、本展を通してご覧いただけます。

なお例年どおり本展に併せ、3階展示室3及び5階ギャラリー1・2ではガラス造形研究所卒業制作展を行い、館内を広く回遊して鑑賞できる形式で3施設の成果を発信します。

高橋館長とガラス工房所属作家（17名）による約50作品を展示

高橋禎彦、和田修次郎、竹内駿、佐藤望美、若色正太、竹岡健輔、栗田和、白神朝恵、齊藤九十九、笠原綾乃、横山海渡、数藤芽郁、大久保瑠香、浅野碧唯、野間恵花、勝木竜二、綿舎雄希、島崎夏実

本展のみどころ

1. 高橋館長の新作を初公開

新館長・高橋禎彦氏による最新作を本展で初披露。富山ガラス工房の歴史に新たな1頁を開く作品です。

2. 高橋館長と17名の作家による現在進行形の作品を展示

高橋館長と工房での制作を支える所属作家17名による作品で、富山のガラス表現の厚みと多様性をご覧いただけます。鑑賞を通じて推し作家に出会える絶好の機会です。

3. 「思考の断片」を展示

普段は見ることのできない制作前のスケッチやメモなど、作品が生まれる前のプロセスや発想源を各作家が公開します。作家の思考に触れる特設コーナーです。

お問合せ

富山市ガラス美術館 〒930-0062 富山県富山市西町5番1号
Tel 076-461-3100 Fax 076-461-3310
Email bijutsukan-01@city.toyama.lg.jp Web toyama-glass-art-museum.jp

高橋禎彦（たかはし よしひこ）氏プロフィール

1958年、東京都生まれ。1980年、多摩美術大学美術学部立体デザイン専攻プロダクトデザイン専修クラフトデザインコースを卒業。同大学の立体デザイン専攻研究室副手を務める（-1982年）。同年ドイツに渡り、ウド・エーテルマンのもとで2年間アシスタントを経験。帰国後、神奈川県相模原市に自身の工房を開設する。宙吹きや鋳造などの技法を駆使し、強い意志と感覚、確かな技術で素材と向き合い、独自の作品を生み出してきた。2009-2021年に多摩美術大学で准教授・教授を歴任。2025年より富山ガラス工房館長に就任。



出品作品画像



1



2



3



4



5

- 1 高橋禎彦《越碧花入れ》2023年 撮影：田中祐樹
 - 2 高橋禎彦《謎》2023年 撮影：田中祐樹
 - 3 高橋禎彦《しるし》2023年 撮影：田中祐樹
 - 4 高橋禎彦《謎》2019年 撮影：斎城卓
 - 5 高橋禎彦《置いてきたもの》2020年 撮影：斎城卓
- 全て富山市ガラス美術館蔵です。
新作は会場にて初公開となります。

お問合せ

富山市ガラス美術館 〒930-0062 富山県富山市西町5番1号

Tel 076-461-3100 Fax 076-461-3310

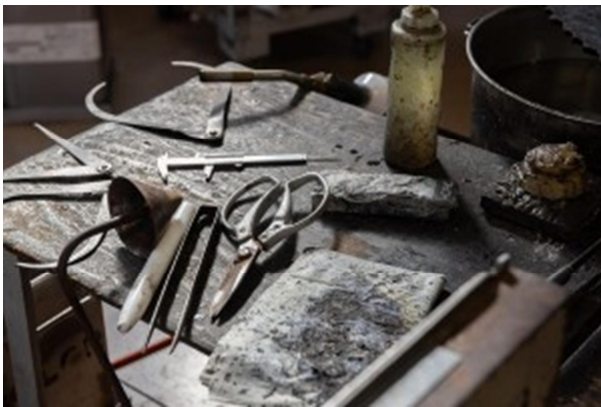
Email bijutsukan-01@city.toyama.lg.jp Web toyama-glass-art-museum.jp



6 富山ガラス工房



7 富山ガラス工房 第2工房



8 吹きガラスで使われる道具



9 第2工房での制作体験の様子

富山ガラス工房

富山ガラス工房は、平成6（1994）年に、富山市西部・呉羽地区に整備された現代ガラスアートの創造拠点。溶解炉やキルンなどの設備を備え、制作から教育普及まで幅広く展開。令和7（2025）年に高橋禎彦館長を迎え、創造環境の再構築を推進中。

お問合せ

富山市ガラス美術館 〒930-0062 富山県富山市西町5番1号
Tel 076-461-3100 Fax 076-461-3310
Email bijutsukan-01@city.toyama.lg.jp Web toyama-glass-art-museum.jp

関連プログラム

ワークショップ「色鉛筆で描く、ガラスの雷鳥制作」

- 日 時 2月7日(土) ①10:30-11:30 ②13:30-14:30
2月8日(日) ③13:30-14:30
2月11日(水・祝) ④10:30-11:30 ⑤13:30-14:30
- 会 場 富山市ガラス美術館 2階ロビー
- 対 象 5歳以上(中学生以下は要保護者同伴)
- 参加費 1,760円(税込)
- 連絡先 富山ガラス工房第2工房 TEL: 076-436-3322 (9:00-17:00)
※事前申し込み制、各回10人(先着順)



10 ガラスの雷鳥 (完成イメージ)

同時開催

富山ガラス造形研究所 卒業制作展 2026

- 会 場 富山市ガラス美術館 3階展示室3 / 5階ギャラリー1・2
- 会 期 2026年2月7日(土) ~ 2月15日(日)
- 開場時間 午前9時30分~午後6時(入場は閉場の30分前まで)
- 会期中無休・観覧料無料

お問合せ

富山市ガラス美術館 〒930-0062 富山県富山市西町5番1号
Tel 076-461-3100 Fax 076-461-3310
Email bijutsukan-01@city.toyama.lg.jp Web toyama-glass-art-museum.jp



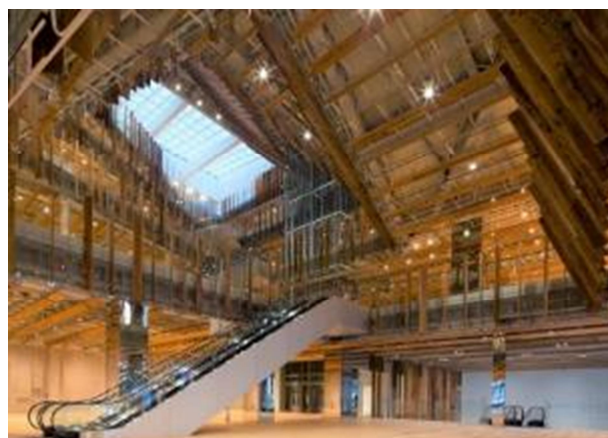
富山市
ガラス美術館
TOYAMA
GLASS ART MUSEUM



美術館概要



11 富山市ガラス美術館 外観



12 富山市ガラス美術館 内観

富山市ガラス美術館は、「ガラスの街とやま」を目指したまちづくりの一環として、2015年8月に開館しました。本美術館は富山市立図書館本館などが入居する複合施設「TOYAMA キラリ」内に整備され、富山市の中心市街地に位置することから、文化芸術の拠点としてだけでなく、まちなかの新たな魅力創出の役割を担ってきました。

世界的な建築家の隈研吾氏が設計を手掛けた建物は、御影石、ガラス、アルミの異なる素材を組み合わせ、表情豊かな立山連峰を彷彿とさせる外観となっています。また、内部は富山県産材のルーバー（羽板）を活用した開放的な空間となっています。

常設展として、アメリカの現代ガラスの巨匠、デイル・チフリー氏によるインスタレーション作品を展示する6階「グラス・アート・ガーデン」のほか、所蔵作品を紹介する4階「コレクション展」や2階から4階の展示室壁面などに富山ゆかりの作家が制作した作品を展示する「グラス・アート・パサージュ」があります。また企画展では1950年代以降のグラス・アートを中心に、様々な美術表現を紹介しています。

交通アクセス

〔富山駅から〕

○徒歩 20分 ○市内電車南富山駅前行に乗り、「西町（にしちょう）」下車、徒歩 1分

○市内電車環状線に乗り、「グランドプラザ前」下車、徒歩 2分

（富山駅から「西町」「グランドプラザ前」まで約 10分）

〔富山空港から〕

○地鉄バス（富山空港線）「総曲輪（そうがわ）」下車、徒歩 4分

お問合せ

富山市ガラス美術館 〒930-0062 富山県富山市西町 5 番 1 号

Tel 076-461-3100 Fax 076-461-3310

Email bijutsukan-01@city.toyama.lg.jp Web toyama-glass-art-museum.jp

美術館公式 SNS アカウント



Instagram

アカウント名
toyamaglassartmuseum
美術館



Facebook

アカウント名
toyamaglassartmuseum



Youtube

チャンネル名
ToyamaGlassArtMuseum 富山市ガラス
美術館

報道関係のお問合せ先

富山市ガラス美術館

Tel. 076-461-3100 Fax. 076-461-3310

E-mail: bijutsukan-01@city.toyama.lg.jp (代表)

広報担当：宇於崎、小谷 展覧会担当：北村

広報用画像の貸出しについて

p. 3-6 の画像 1-12 を広報用に貸出します。ご希望の方は、p. 8 の画像貸出し申請書の使用条件をご確認の上、メールまたは Fax にて上記の美術館広報担当へ申請書をお送りください。

お問合せ

富山市ガラス美術館 〒930-0062 富山県富山市西町 5 番 1 号

Tel 076-461-3100 Fax 076-461-3310

Email bijutsukan-01@city.toyama.lg.jp Web toyama-glass-art-museum.jp



富山市
ガラス美術館
TOYAMA
GLASS ART MUSEUM



年 月 日

(宛先) 富山市ガラス美術館長

担当者： _____
 Tel: _____
 Fax: _____
 E-mail: _____
 住所： _____
 団体名： _____

富山市ガラス美術館 画像貸出し申請書

次のとおり、掲載用素材として企画展「ガラスの街とやま連携展・富山市ガラス美術館開館
 10周年記念：富山ガラス工房 高橋禎彦館長就任記念 ^{グラス スタジオ ハブ} Glass Studio Hub—ひと・わざ・創造力
 の集まるところ」の画像を申し込みます。

1. 掲載（放映）媒体名： _____
2. 媒体種別：TV 新聞 雑誌 フリーペーパー 電子書籍 WEB サイト 携帯媒体
 その他（ _____ ）
3. 掲載の趣旨
 別紙のとおり（媒体資料を添付してください） _____
4. 掲載（放映）日時： _____
5. ご希望の画像番号： _____

- 画像は原則、全図でご使用ください。トリミング、部分使用、縦横比の変更、文字のせはご遠慮ください。
- 画像掲出には別途指定するキャプションを必ず入れてください。
- 展覧会広報のみにご使用ください。他の目的でのご使用は固くお断りいたします。
- 商品のPR等の商業利用に関しては画像の提供は出来ません。
- 画像の2次使用はご遠慮ください。
 ※画像が使用できる期間は展覧会期間内のみとなります。
 ※同一記事の再掲載や再放送等については再申請が必要となります。
- 校正ゲラの段階で情報の確認をさせていただきます。
- 記事が掲載された場合は掲載見本（DVD、掲載紙、掲載誌等）を美術館広報担当へご寄贈ください。

申請書送付先：富山市ガラス美術館 広報担当 E-mail: bijutsukan-01@city.toyama.lg.jp Fax：076-461-3310

お問合せ
 富山市ガラス美術館 〒930-0062 富山県富山市西町5番1号
 Tel 076-461-3100 Fax 076-461-3310
 Email bijutsukan-01@city.toyama.lg.jp Web toyama-glass-art-museum.jp

